



## 高大連携フューチャーセッション in 福知山公立大学-実施報告-

本企画は、高校生・大学生にそれぞれの将来について考えていただき、自身のキャリアを意識することや大学や高校で学ぶことの大切さに気づいていただくことを目的として実施した。

日程	2017年3月19日(日) 10:30~16:00	
会場	福知山公立大学 にじイロ食堂(福知山市堀)	
主催	京都高大連携研究協議会(京都府教育委員会・京都市教育委員会・京都府私立中学高等学校連合会・京都商工会議所・公益財団法人大学コンソーシアム京都)	
共催	公立大学法人福知山公立大学	
参加者	高校生 15名 (日星高等学校 10名、綾部高等学校 1名、西舞鶴高等学校 1名、東舞鶴高等学校 1名、福知山高等学校 1名、桃山高等学校 1名) 大学生 8名 (福知山公立大学 5名、京都府立大学 2名、同志社大学 1名)	
スケジュール	10:30	開会 趣旨説明・オリエンテーション
	10:45	ワークショップ① (45分×2 休憩含) 「学ぶこと」と「働くこと」について考えてみる コーディネーター: 杉岡秀紀氏(福知山公立大学地域経営学部准教授) アドバイザー: 谷口知弘氏(福知山公立大学地域経営学部教授) 江上直樹氏(福知山公立大学地域経営学部助教) 佐藤充氏(福知山公立大学地域経営学部助教)
	12:15	昼食 (45分)
	13:00	ロールモデルトーク (20分×3) 「社会人の『学び』や『仕事』について聞いてみる」 工忠衣里子氏(里山ゲストハウス クチュール経営) 森下 直哉氏(舞鶴市役所) 福谷圭一郎氏(福大商事株式会社・専務取締役)
	14:00	ワークショップ② (45分) 「学ぶこと」と「働くこと」をつなげてみる コーディネーター: 杉岡秀紀氏 アドバイザー: 谷口知弘氏、江上直樹氏、佐藤充氏
	14:45	休憩 (5分)

14 : 50	ワークショップ③ (50分) 「自分の『未来』を見つめてみる」 趣旨説明：竹田章生氏 (京都府健康福祉部少子化対策課 事業戦略担当課長) 講師：植村健志氏 (株式会社アイシーエル)
15 : 40	まとめ (20分) コーディネーター：杉岡秀紀氏
16 : 00	閉会 閉会挨拶：富野暉一郎氏 (福知山公立大学副学長)

趣旨説明、オリエンテーションの後、総合コーディネーターの福知山公立大学の杉岡秀紀先生の進行のもと、高校生、大学生が混成の5グループに分かれ、ワークショップが始まりました。グループワークでは、大学生に取りまとめ役を担ってもらい、まず「学ぶこと」と「働くこと」について見つめ直していただきました。途中、グループメンバーの入れ換えなども行い、多様な意見・考え方があることにも気づいていただきました。



昼食休憩をはさみ、午後からのロールモデルトークでは、京都府北部地域を中心に、それぞれの分野で活躍されている方3名に、それぞれの立場から、これまでどのように学び、働いてきたのかについてお話しいただきました。

その後、それまでのワークショップやロールモデルトークの内容を振り返り、「学ぶこと」と「働くこと」がどのように繋がっているのかを確認した上で、それらが自身の人生やキャリアにおいて、とても重要であることを認識いただきました。続くライフデザインワークショップでは、個々のこれからの人生やキャリアについて「人生年表シート」に落とし込み、見える化を図っていただきました。



全体の83%が「満足」、17%が「やや満足」と回答したアンケート結果から、参加した高校生、大学生にとって、とても充実したプログラムであったことが窺えました。特に、普段、交流のないロールモデルの社会人から、現在の仕事に対する誇りや苦境の乗り越え方、これからの夢など、今まで聞いたことがない様々なリアルな話を聞くことができたことや、他校の学生とのワークショップにおいて、自身の意見を伝え、それがメンバー間で共有できたことなどが、高い満足度に繋がっているようです。

